



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホウスイ
 コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 昌明
 (氏名) 小林 留一

TEL 03-3543-3536

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,691	6.6	108	29.4	124	17.7	80	60.4
25年3月期第1四半期	10,967	8.0	83	△8.5	106	△7.6	49	△1.3

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 98百万円 (71.0%) 25年3月期第1四半期 57百万円 (△4.8%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
26年3月期第1四半期	0.96		—	
25年3月期第1四半期	0.60		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
26年3月期第1四半期	21,219		5,568		24.8	62.91		
25年3月期	17,146		5,642		31.2	63.91		

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 5,268百万円 25年3月期 5,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	24,000	9.4	220	11.7	240	0.0	150	30.4	1.79	
通期	50,000	12.5	410	△8.7	450	△12.8	260	4.8	3.10	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社せんいち、除外 1社 (社名) 恵光水産株式会社
(注)詳細は、【添付資料】P3.「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、【添付資料】P3.「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	83,790,000 株	25年3月期	83,790,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	44,821 株	25年3月期	44,321 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	83,745,179 株	25年3月期1Q	83,747,465 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレからの早期脱却へ向けた金融緩和政策や経済政策を背景に、円安・株高が進行し企業の景況感は上向きつつあります。しかしながら欧州の財政不安は継続しており世界経済に対する先行き不安や、国内設備投資が低調に推移するなど、実体経済に波及するまでには至らず、景気の見通しは依然として不透明な状況にあります。

一方、水産・食品業界におきましては、引き続き景気の回復が期待されているものの個人消費は低迷したまま推移し、消費者の低価格指向と節約志向が続く厳しい経営環境にありました。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き顧客のニーズに迅速に対応するとともに、増強してきた設備やグループの持つ機能を最大限に活用して収益の確保に努めてまいりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、子会社・株式会社せんにち 設立による厚焼玉子事業への参入や関係会社株式の売却益の計上等により、売上高116億91百万円(前年同期比7億24百万円増)、営業利益1億8百万円(前年同期比24百万円増)、経常利益1億24百万円(前年同期比18百万円増)、四半期純利益は80百万円(前年同期比30百万円増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、保管料単価の値上げにより保管料収入は増加しましたが、容積建保管料収入等の減少により、売上高・営業利益とも減少いたしました。

その結果、売上高は10億43百万円(前年同期比6百万円減)となり、営業利益は61百万円(前年同期比3百万円減)になりました。

② 水産物卸売事業セグメント

水産物卸売事業セグメントは、前年度来の新規顧客対応の成果や子会社・株式会社せんにち 設立による厚焼玉子事業への参入、また既存事業の販管費の減少等により、前年同期比売上高、利益とも増加いたしました。その結果、売上高は106億47百万円(前年同期比7億31百万円増)となり、営業利益は46百万円(前年同期比28百万円増)となりました。

セグメントの業績の詳細については、「4. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比40億72百万円増加し、212億19百万円となりました。

流動資産は、株式会社せんにち を第1四半期連結会計期間から連結範囲に含めたことにより売上債権の増加等があり、前期末比21億48百万円増加の92億16百万円となりました。

固定資産については、冷蔵倉庫事業セグメントの設備投資や、株式会社せんにち を第1四半期連結会計期間から連結範囲に含めたことなどにより、前期末比19億24百万円増加の120億3百万円となりました。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比41億46百万円増加し、156億50百万円となりました。

流動負債は、株式会社せんにち を第1四半期連結会計期間から連結範囲に含めたことにより、仕入債務の増加等があったため、前期末比23億15百万円増加し、91億61百万円となりました。

固定負債は、関係会社長期借入金の増加等により、前期末比18億31百万円増加し、64億89百万円となりました。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、第1四半期累計期間純利益が80百万円となったものの、株主配当金の支払1億67百万円等により、前期末比73百万円減少の55億68百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結子会社(恵光水産株式会社)の株式を一部売却しましたので、同社を連結の範囲から除外しましたが、第2四半期以降の売上高・営業利益・経常利益への業績予想の影響額は軽微であります。

なお、株式売却により特別利益(関係会社株式売却益)を計上したため、四半期純利益及び当期純利益の業績予想を修正いたしました。

修正の詳細につきましては本日(平成25年7月30日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、子会社・株式会社せんいちを設立したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間において、恵光水産株式会社の株式を一部売却したことにより、持分比率が低下したため、連結の範囲から除外しております。ただし、平成25年6月30日をみなし売却日としたため、当第1四半期連結会計期間の恵光水産株式会社の損益計算書については連結しており、貸借対照表については連結していません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	382	588
受取手形及び売掛金	4,026	5,040
商品及び製品	1,493	2,171
原材料及び貯蔵品	6	20
関係会社預け金	988	1,055
繰延税金資産	51	51
その他	146	312
貸倒引当金	△27	△24
流動資産合計	7,068	9,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,641	11,869
減価償却累計額	△7,244	△7,329
建物及び構築物（純額）	4,397	4,540
機械装置及び運搬具	3,047	3,068
減価償却累計額	△2,348	△2,382
機械装置及び運搬具（純額）	698	686
工具、器具及び備品	277	276
減価償却累計額	△199	△201
工具、器具及び備品（純額）	78	75
土地	3,096	3,301
リース資産	406	494
減価償却累計額	△190	△214
リース資産（純額）	215	280
建設仮勘定	968	1,672
有形固定資産合計	9,454	10,557
無形固定資産	161	937
投資その他の資産		
投資有価証券	174	222
長期貸付金	6	6
繰延税金資産	153	149
その他	127	130
投資その他の資産合計	461	508
固定資産合計	10,078	12,003
資産合計	17,146	21,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,190	5,217
1年内返済予定の長期借入金	138	113
1年内返済予定の関係会社長期借入金	70	237
短期借入金	600	1,100
関係会社短期借入金	900	1,400
リース債務	74	95
未払法人税等	120	99
賞与引当金	74	23
役員賞与引当金	13	—
その他	664	875
流動負債合計	6,846	9,161
固定負債		
長期借入金	3,126	3,116
関係会社長期借入金	64	1,877
リース債務	141	188
退職給付引当金	870	861
役員退職慰労引当金	0	—
本社移転損失引当金	147	147
長期預り保証金	6	6
長期未払金	117	117
負ののれん	183	174
固定負債合計	4,657	6,489
負債合計	11,503	15,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,222	1,220
利益剰余金	1,630	1,544
自己株式	△1	△1
株主資本合計	5,336	5,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	19
その他の包括利益累計額合計	15	19
少数株主持分	290	299
純資産合計	5,642	5,568
負債純資産合計	17,146	21,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	10,967	11,691
売上原価	10,000	10,633
売上総利益	966	1,058
販売費及び一般管理費	883	950
営業利益	83	108
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	0	0
負ののれん償却額	9	9
雑収入	20	26
営業外収益合計	30	37
営業外費用		
支払利息	8	20
雑支出	0	0
営業外費用合計	8	21
経常利益	106	124
特別利益		
関係会社株式売却益	—	63
特別利益合計	—	63
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	105	188
法人税等	47	94
少数株主損益調整前四半期純利益	58	93
少数株主利益	8	13
四半期純利益	49	80

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	58	93
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	4
その他の包括利益合計	△0	4
四半期包括利益	57	98
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49	84
少数株主に係る四半期包括利益	8	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産物卸売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,050	9,916	10,967	—	10,967
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	4	29	△29	—
計	1,075	9,921	10,996	△29	10,967
セグメント利益	65	18	83	—	83

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産物卸売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,043	10,647	11,691	—	11,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	4	29	△29	—
計	1,068	10,652	11,720	△29	11,691
セグメント利益	61	46	108	—	108

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「水産物卸売事業」において、株式会社千日総本社から事業を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において777百万円であります。